

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2023年		授業計画		
時期	1年C巡	単元	実習	教科名	シャシ3 (サスペンション)	
科目	自動車整備	教科書等 持参品	3級自動車シャシ 実習ノート		発行日	2023.4.1
総時限	32時限				教科担当	添田
必要時限	32時限					梶山
<b>指導教員の実務経験</b> <div style="display: inline-block; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin: 0 5px;">該当</div> 非該当						
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解、組立、点検等について指導する。						
<b>教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)</b>						
①いろいろなサスペンションの着脱作業を安全に実施出来る。 ②ドライブシャフトのブーツ交換の着脱作業を安全に実施出来る。 ③タイヤの着脱、バランス作業が正確に実施出来る。 ④真空式制動倍力装置の構造、機能を理解する。						
<b>授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)</b>						
①サスペンションの種類、特徴、構造、機能が理解出来るようになる。 ②ストラット式サスペンションを車両から着脱し、スプリングの着脱が出来るようになる。 ③トーションビーム式サスペンションのスプリングの着脱が出来るようになる。 ④車両よりドライブシャフトを着脱し、ブーツ交換が出来るようになる。 ⑤真空式制動倍力装置の構造、機能が理解出来るようになる。 ⑥タイヤの着脱、バランスどりが安全に実施出来るようになる。 ⑦グリース塗布を含めたディスクパッド、ブレーキシューの正確な交換、調整作業が出来るようになる。						
<b>学習評価 (期末試験での主な試験項目)</b>						
1) 履修試験での学習評価 実技試験 70点、筆記試験 30点にて総合評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。						
2) 出題試験項目						
1. 実技試験						
①フロントストラットの着脱。						
②ドライブシャフトブーツの交換。						
③タイヤ交換 (タイヤチェンジャの取り扱い)。						
2. 筆記試験						
①一体型制動倍力措置の構造、機能。						
<b>準備学習</b>						
事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。 シャシ2の実習ノートを基にブレーキの着脱作業及び点検、調整を確認し復習する。						

